

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

1 調査日

令和3年5月27日（木）

2 調査集計対象

小学校第6学年児童 全国 994,101名（うち江戸川区 5,424名）

3 区内実施校数

全小学校 69校

4 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

5 調査内容

① 教科に関する調査

- 国語・算数

② 生活習慣や学習環境に関する調査

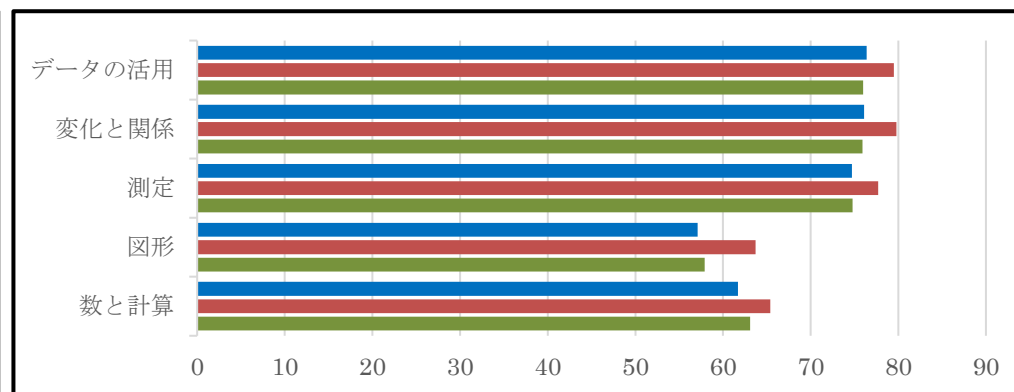
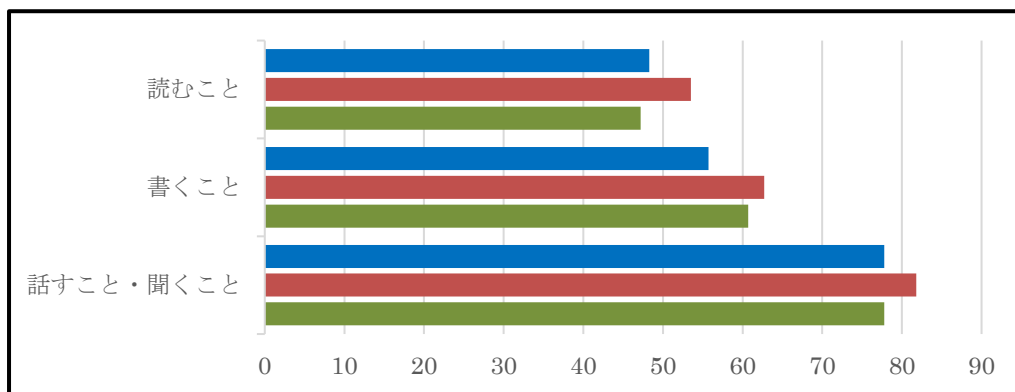
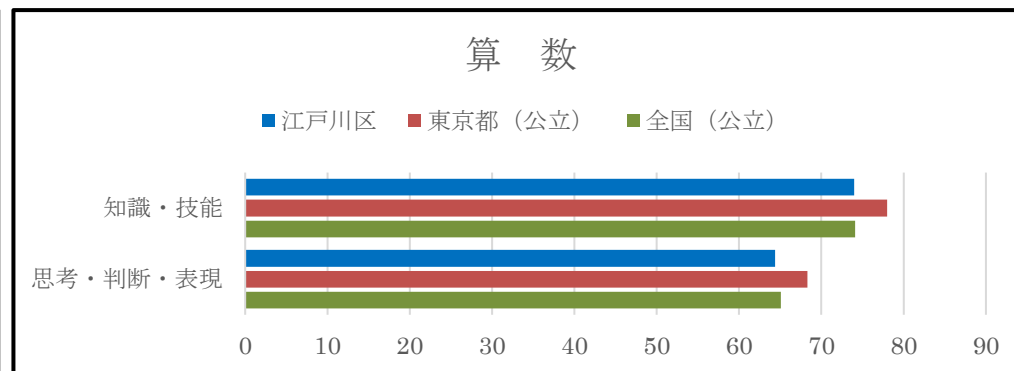
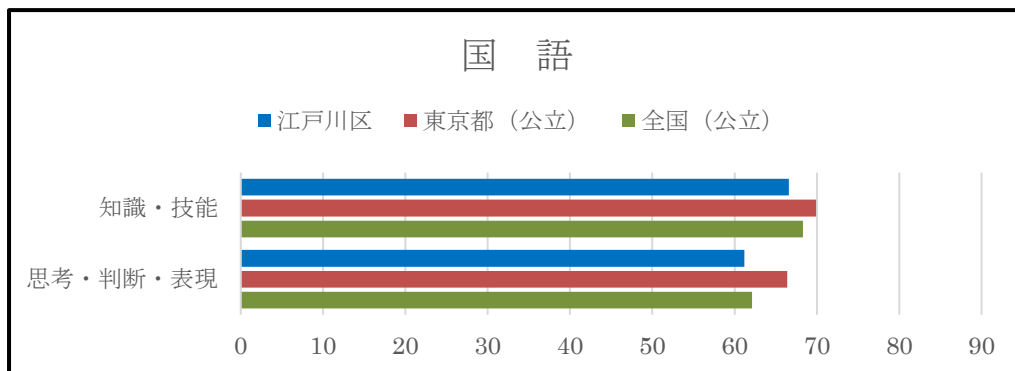
- 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- 学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

「領域別」の結果

以下、平均正答率（％）を示す。



【平均正答率の差】

	国語	算数
江戸川区（区立）	64%	70%
東京都（公立）	68%	74%
全国（公立）	64.7%	70.2%
都との差	-4ポイント	-4ポイント

【全国平均、東京都平均との関係】

- <全国との関係>
- 国語・算数とも、全国の平均正答率と同程度である。
- 「知識・技能」において、算数は全国平均と同程度であるが、国語は全国平均を1.7ポイント下回る。
- <東京都との関係>
- 国語、算数ともに、全ての領域において都平均を下回る。
- 「知識・技能」において、国語は-3.3ポイント、算数は-4.0ポイント下回る。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

国語 「設問別」の結果と課題

全国より平均正答率が高い問題

2

相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



- 一 相川さんが読んだ【資料】の文章は、何について、どのように書かれていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 面ファスナーの開発と広がりについて、時間の経過にそって書かれている。
 - 2 面ファスナーの長所と短所について、それぞれの事例が交互に書かれている。
 - 3 面ファスナーの長所と短所について、一つの事例が取り上げられて書かれている。
 - 4 面ファスナーの開発と広がりについて、筆者の問いとその答えがくり返し書かれている。

【出題の趣旨】2 一

文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。

【正答率】

江戸川区	81.7%
東京都	83.4%
全国	77.6%

【本区のこれからの取組】

文章全体の構成を捉え、大体的な内容を把握した上で詳細な読み取りにつなげることで、必要な情報をすばやく収集し、的確に精査する力を引き続き伸ばしていく。

都・全国より平均正答率が低く、無解答率が高い問題

3

(1)

次の——部アを漢字でいいいに書きましょう。
みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。

次の——部ウを漢字でいいいに書きましょう。
また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。

次の——部エを漢字でいいいに書きましょう。
かたづけわすれたり時間がなくなてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

【出題の趣旨】3 三

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

【正答率】 【無解答率】

江戸川区	75.6%	13.1%
東京都	79.4%	10.8%
全国	78.3%	8.8%

【本区のこれからの課題】

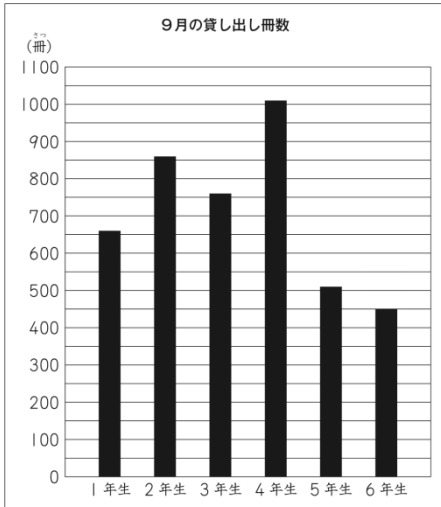
各教科における基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得は、学力向上において必要不可欠な要素である。引き続き、学力の基盤となる基礎・基本の徹底に向けて取組を進める。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

算数 「設問別」の結果と課題

全国より平均正答率が高い問題

3



図書アンケートの2つの質問の結果

(人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。

ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。

イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。

ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。

エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

(3) 「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。「114」は表のどこにあてはまりますか。

【出題の趣旨】③ (2) (3)

(2) 棒グラフから項目間の関係を読み取ることができる。

(3) データを二次元の表に分類整理することができる。

【正答率】(2) 江戸川区 91.3% 東京都 92.2% 全国 90.7%

(3) 江戸川区 69.6% 東京都 73.8% 全国 67.5%

【本区のこれからの取組】

問いや課題を正確に理解し、身に付けた知識・技能を活用して自ら考え、判断し、表現する学習場面を意図的に作り、繰り返し学習することで論理的思考力をさらに伸ばしていく。

都・全国より平均正答率が低く、無解答率が高い問題

4

(3) 14 mのテープと20 mのテープがあります。

こはるさんたちは、14 mは20 mの何倍かについて考えています。



こはる

14 ÷ 20 = 0.7 で、0.7 倍です。0.7 倍というのは、20 m を1としたとき、14 m が0.7 にあたることを表していましたね。

【ゆうまさんの説明】



ゆうま

20 m を1としたとき、0.1 にあたる長さは2 m です。14 m は、2 m の7つ分になるので、20 m を1としたときの0.7 にあたります。

12 mのテープと30 mのテープもあります。

たくみさんたちは、12 mは30 mの何倍かについて考えています。



たくみ

12 ÷ 30 = 0.4 で、0.4 倍です。

⇒ 30 mを1としたときに12 mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さが分かるようにして言葉や数を使って書きましょう。

【出題の趣旨】④ (3)

小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの整数の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数にあたる理由を記述できる。

【正答率】

【無解答率】

江戸川区	47.5%	13.6%
東京都	51.3%	12.0%
全国	51.5%	10.3%

【本区のこれからの課題】

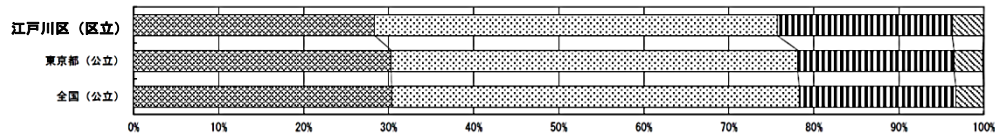
問いを正確に把握し、論理的に課題を解決する学習問題を意図的に設定し、その解法を複数の友だちに対して表現させることで、根拠をもって自分の考えを説明する力を高める必要がある。

令和3年度 児童質問紙調査【小学校】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

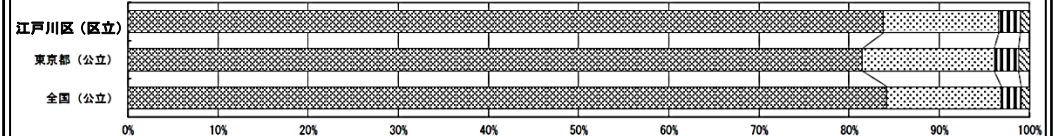
□1.当てはまる □2.どちらかといえば、当てはまる □3.どちらかといえば、当てはまらない □4.当てはまらない □その他 □無回答



規範意識・自己有用感等

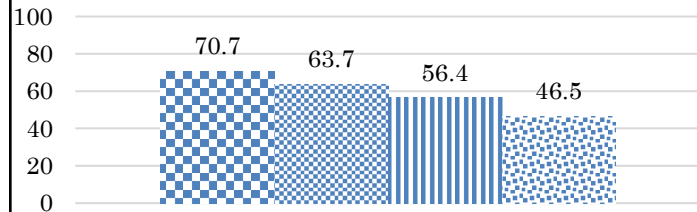
11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

□1.当てはまる □2.どちらかといえば、当てはまる □3.どちらかといえば、当てはまらない □4.当てはまらない □その他 □無回答



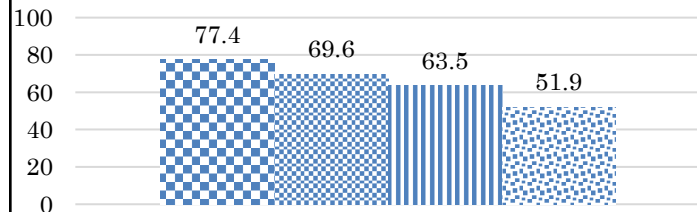
授業への主体的な取組と学力のクロス集計

平均正答率 国語



- 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまらない
- 当てはまらない

平均正答率 算数

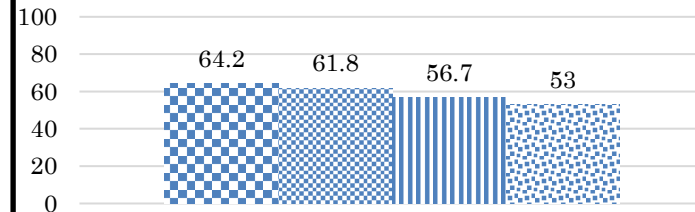


- 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまらない
- 当てはまらない

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。児童が課題に対して主体的に取り組むことができるよう、授業の導入や教材の内容、課題提示等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組む態度を養う必要がある。

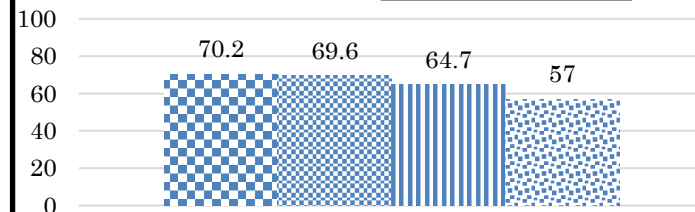
規範意識の高まりと学力のクロス集計

平均正答率 国語



- 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまらない
- 当てはまらない

平均正答率 算数



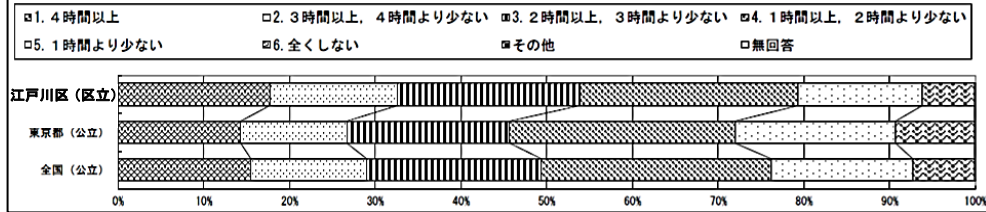
- 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまる
- どちらかといえば 当てはまらない
- 当てはまらない

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、都を上回り、全国と同程度である。「いじめはいけない」と答えている児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。児童一人一人の規範意識を高め、そういった児童の努力や態度を認め励ますことで、きまりを守ることの心地よさを味わわせるとともに、授業を効率的・効果的に進めていく必要がある。

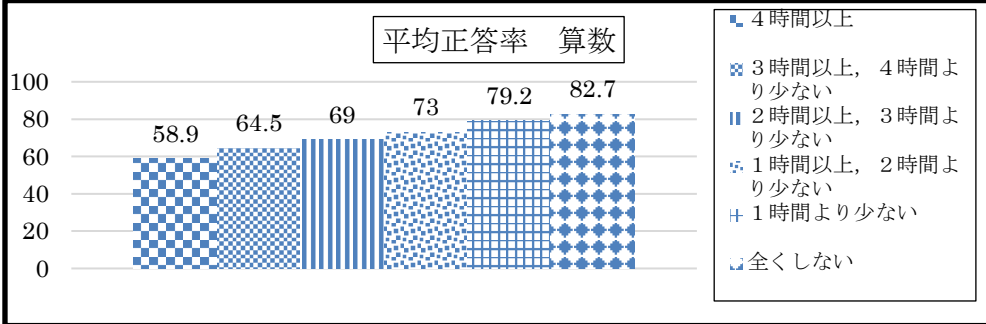
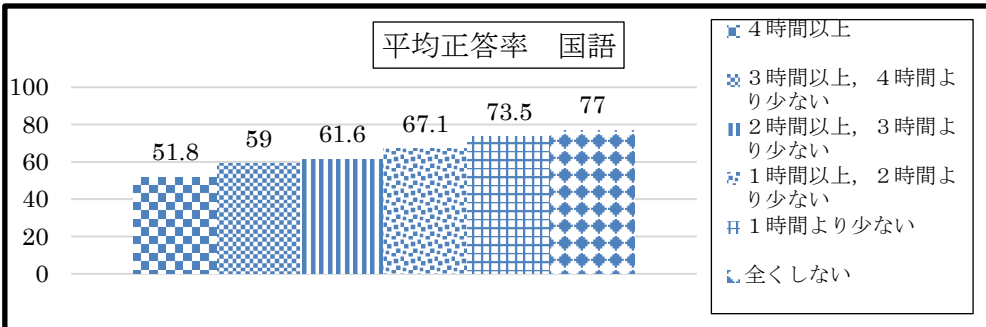
令和3年度 児童質問紙調査【小学校】

生活・学習習慣等

5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



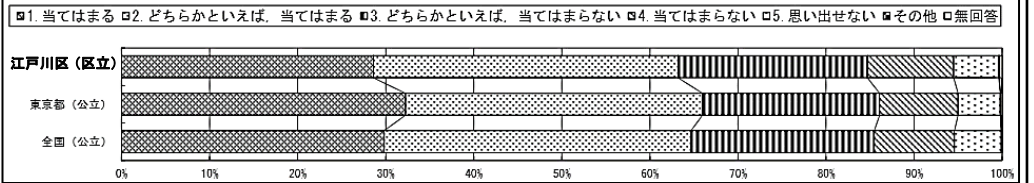
テレビゲームの時間と学力のクロス集計



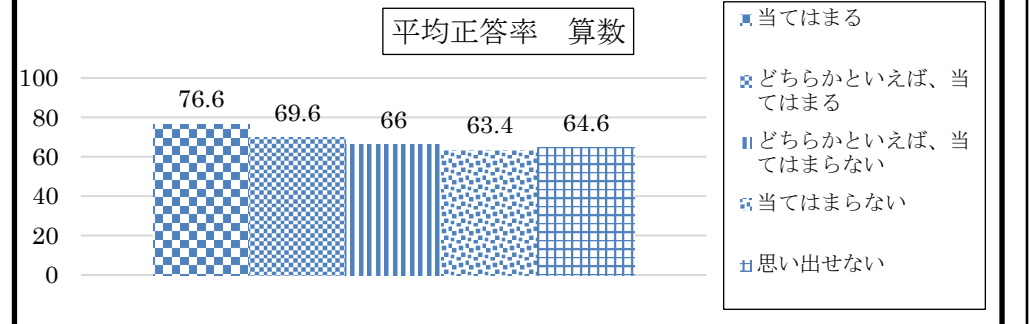
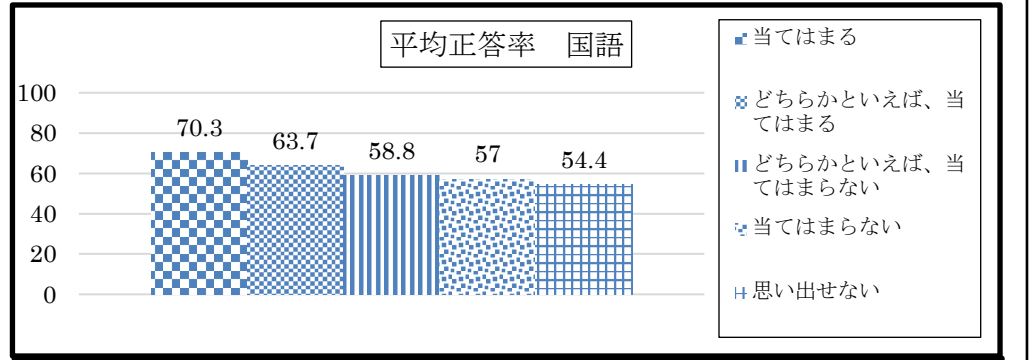
テレビゲームをする時間が全くない、もしくは1時間より少ないと回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。テレビゲームに費やす時間が少ない児童の方が、多い児童よりも平均正答率が高い傾向にある。
SNS家庭ルールへの順守及び生活習慣を整えることを徹底させ、家庭学習の時間を確実に確保することで、学力の向上に努めていく必要がある。

新型コロナウイルス関連

65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。



休校中の学習の進め方と学力のクロス集計



「休校中、計画的に学習を続けることができなかった」と回答した児童の割合が、全国及び都を上回っている。休校中も計画的に学習を続けられたと回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。
授業以外でも児童が自発的に学習を続けられるよう、補習教室の活用、タブレット端末での家庭学習等、児童が自ら意欲的に学習できる環境を整えることが必要である。

令和3年度 学力向上に関わる主な取組【小学校】

○「確かな学力向上推進プラン」の改訂

- ・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

○「補習教室」の実施

- ・全ての児童の基礎・基本の確実な定着を図るため、「補習教室」を年間35回以上実施
- ・「放課後補習教室」事業の実施（令和3年度モデル校：45校）

○ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」の推進

- ・算数の授業において、効果的な「習熟度別指導」を実施

○ICTを活用した協働学習の推進

- ・各教科等の授業で一人一台タブレット端末を活用し、授業改善を実施

○学校図書館の活用

- ・学校図書館の環境整備を進め、教科等で学校図書館を活用
- ・学校図書館スーパーバイザーを派遣し、学校図書館の整備及び活用に向けた指導・助言を実施
- ・学校司書を4年間で全校に派遣し、学校図書館の運営・管理を実施

○「読書科」の充実

- ・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間35時間実施）

○eライブラリアドバンスの活用

- ・eライブラリアドバンス（国語、社会、算数、理科）を活用した放課後補習を実施（ICT支援員を派遣）
- ・児童の自宅での活用を推奨（IDとパスワードを配布）